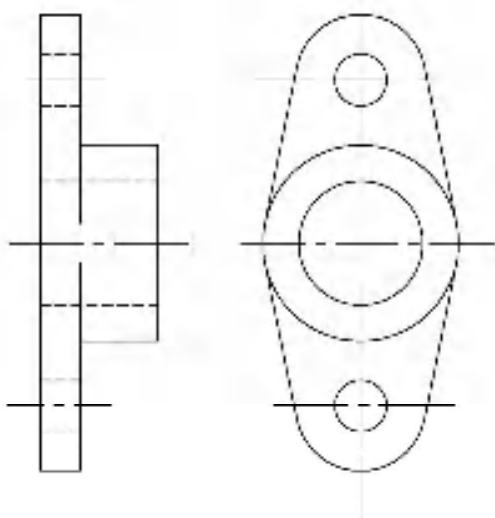


科 目		必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科		単位数	授 業 形 態						
機械設計製図 (Machine Design & Drawing)		必	榎原恵蔵	1 年 生 知能機械工学科		2	通 年 週 2 時間						
授業概要		機械やそれを構成する部品を製作するには、形状・寸法・仕上げなどが記された図面が必要になる。本授業では図面を作成する作業である製図に関する基本的な規則を学習し、おねじ・めねじ、および簡単なモデルを三角法により正しく製図できるようにする。											
到達目標		機械製図に必要な知識を習得し、三角法により簡単な図面が描けるようになる。											
評価方法		定期試験 4 0 %、課題・作成図面など 6 0 %として評価する。総合評価 6 0 点以上を合格点とする。											
教科書等		[教科書]検定教科書、機械製図、実教出版(2 0 1 0)											
内 容							学習・教育目標						
第 1 週	オリエンテーション(成績の付け方など)。教科書p.2~4					C							
第 2 週	教科書p.8-10(文字・線)説明。文字の課題					C							
第 3 週	線の課題					C							
第 4 週	教科書p.20-24説明。 p.27課題					C							
第 5 週	教科書p.27課題					C							
第 6 週	教科書 p.27 課題					C							
第 7 週	教科書 p.29 課題					C							
第 8 週	教科書 p.29 課題					中間試験 C							
第 9 週	試験返却、解答説明。教科書 p.75-81 説明					C							
第 1 0 週	教科書p.81-91説明。教科書p.29課題					C							
第 1 1 週	14個のモデルを製図(第 1 サイクル)					C							
第 1 2 週	14個のモデルを製図(第 2 サイクル)					C							
第 1 3 週	14個のモデルを製図(第 3 サイクル)					C							
第 1 4 週	14個のモデルを製図(第 4 サイクル)					C							
第 1 5 週	教科書p.75-91説明					期末試験 C							
第 1 6 週	試験返却、解答説明、14個のモデルを製図(第 5 サイクル)					C							
第 1 7 週	14個のモデルを製図(第 6 サイクル)					C							
第 1 8 週	14個のモデルを製図(第 7 サイクル)					C							
第 1 9 週	教科書p.44-74説明					C							
第 2 0 週	教科書p.29課題					C							
第 2 1 週	教科書p.29課題					C							
第 2 2 週	模型の製作					C							
第 2 3 週	軸模型の製図					中間試験 C							
第 2 4 週	試験返却、解答説明。教科書p.74課題					C							
第 2 5 週	教科書p.144-157説明					C							
第 2 6 週	呼び径六角ボルトおよびナットの製図					C							
第 2 7 週	ボルトとねじ込み部の製図					C							
第 2 8 週	結合したおねじとめねじの製図					C							
第 2 9 週	ボルトとねじ込み部の製図					C							
第 3 0 週	軸状模型 2 (アルミニウム) の製図					期末試験 C							
(特記事項)			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a)d)	d2b)c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

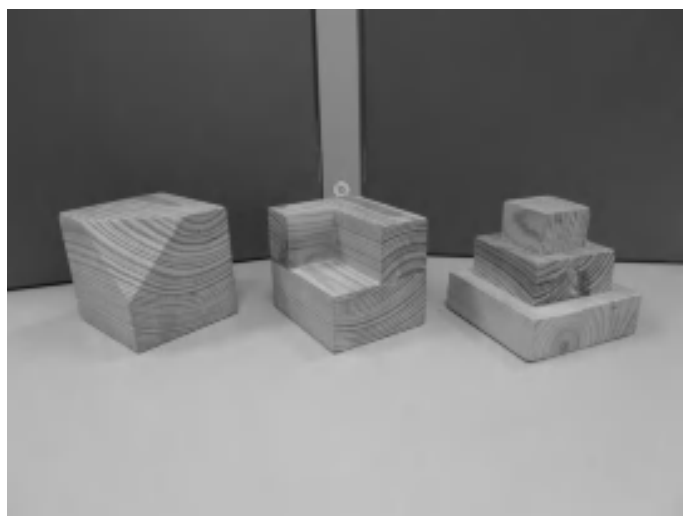
1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60 点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

【課題その一】コンパスの使い方、輪郭線・表題欄記入規則、文字および線の種類と役割について学習します。

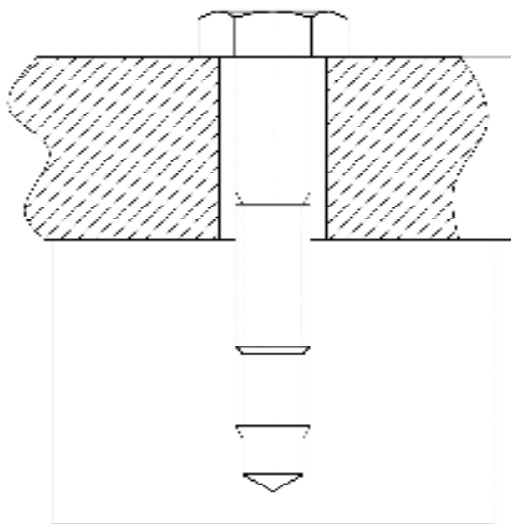


【課題その二】立体図および実際のモデルから規則に従って三面図を描けるようにします。



【課題その三】スケッチを経て、三面図、および寸法記入ができるよう、7班にわかれ14個のモデルの製図をします。

【課題その四】模型を製作し、図面と実際のモデルとの関係を学習します。



【課題その六】ねじの規格および略画法を学習し、おねじ・めねじが描けるようにします。



【課題その七】実際のモデルをスケッチし、全断面図および片側断面図が描けるようにします。